

2014
No.6
平成26年

広報

号外

春日井

創旬



(平成26年4月15日)

祝 市の人口が31万人に



春日井市の人口が4月3日(木)に31万人を超えました。31万人目となったのは、柏井町にお住まいの小瀬戸順平さんと蘭さんの次女・堇(すみれ)さん。3月22日(土)に誕生し、この日午前、父・順平さんが出生届を市役所市民課に提出しました。

春日井市が、昭和18年6月1日に誕生したときの人口は5万3709人。その後、人口増加が続き、71年目で31万人となりました。愛知県内で6番目の人口となります。

消費税率引き上げの影響緩和のための3つの給付金

4月から消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、低所得者や子育て世帯などの負担の影響を緩和するため、臨時的な措置として、3つの給付金を支給します。

詳細は、市ホームページや広報春日井でお知らせします。

臨時福祉給付金

所得の低い方の負担を緩和
5月1日号広報でお知らせします。

子育て世帯 臨時特例給付金

子育て世帯の負担を緩和
5月15日号広報でお知らせします。

子育て支援 減税手当

6月開設に向け、総合保健医療センターが竣工



6月2日(月)のオープンに向け、3月16日(日)に竣工式と内覧会を行いました。

竣工式では、市長をはじめ、市民病院長、市医師会長、市歯科医師会長、市薬剤師会長などが出席し、式典を行いました。

その後に行われた内覧会では、725人もの市民が訪れ、広くなった休日・平日夜間急病診療所や新しく始まる脳ドックのため

のMRI、女性専用のエリアを設けた健診フロア、妊産婦ケアのための「さんさんルーム」など真新しい施設を興味深く眺めていました。

問い合わせ 健康増進課(☎85-6167)



住みやすい生活環境へ、土地区画整理が着々と



2月25日(火)、春日井熊野桜佐土地区画整理事業の起工式が行われ、これから本格的な工事が始まります。

2月28日(金)には、西部第二土地区画整理事業の組合設立認可を求める申請書が提出され、事業計画などの縦覧期間の後、認可をする予定です。



3月22日(土)には、篠木四ツ谷土地区画整理事業の竣工を祝い、記念碑の除幕式が行われました。住みやすい生活環境の創出に向け、都市基盤整備を着々と進めます。

問い合わせ 都市整備課(☎85-6307)

ニュータウン支援でURと覚書を締結

高蔵寺ニュータウンの将来に向けて、市と都市再生機構(UR)中部支社は、3月17日(月)にまちづくりで総合的に協力する覚書を締結しました。

市政アドバイザーの服部敦・中部大学教授の助言も受けながら、今後、少子高齢化などの課題解決に向け相互に協力し、まちづくりを進めます。

問い合わせ 企画政策課(☎85-6048)

